

# 都農町地域資源マップ



11班メンバー

増田健人 大坪千愛 岡村ひかり  
佐藤つぐみ 郭世達

商業 環境 文化資源 公共財



赤木家住宅

赤木家住宅の持ち主である、赤木家は18世紀後期に豊後街道の西側にあった商家。山林業などで生計を立てていた一族。赤木家住宅の向かいにある御飯屋が参勤交代などの宿泊所とされていた。18世紀末には有力町人に本陣の使用が許可されるようになった。赤木家住宅は1837に高鍋藩主や幕府役人の宿泊施設としての機能を果たした。1844に火災で焼失。同年10月より再建。江戸時代末期の状態のまま現存している。



つのコイン

つのコインとは、令和5年10月より始まった、電子地域通貨であり、スマートフォンで利用できるつのコインアプリを利用することで、現金を使わないキャッシュレス決済が可能な地域通貨だ。都農町内の約100店舗の店で導入されている。紙の商品券よりも費用を抑えることができるため経済対策になっている。健康づくりにつながる取組みへの参加に応じてつのコインのポイントが付与され医療・健康・福祉対策にもなっている。



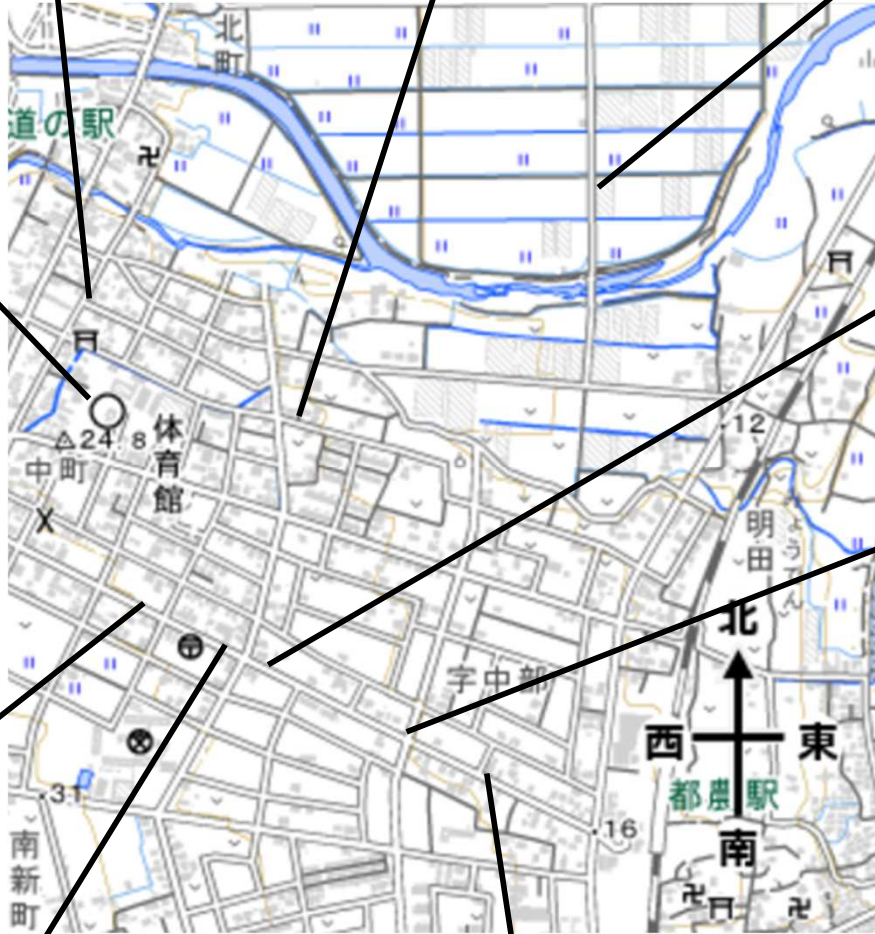
畑の様子

大麦畑やミニトマトのハウス栽培、米の田植えの光景が広がっていた。道路の幅が車一台ほどしかないため、少し危険。また、あたりに街灯が無いので、夜道に落ちるため、危険。畑の周りには有刺鉄線がたくさん張り巡らされていて、夜道でうっかり触ってしまうのが危険だ。辺りにはきれいに整備された用水路が広がっていた。



都農役場

宮崎県都農町の行政を担う。敷地内には緑の木々が植えられ、建物の前には広い平面駐車場が整備されている。本館と新館からなる庁舎内は窓口が分かりやすく配置されている。毎週水曜のマイナンバー夜間窓口設置など、住民の暮らしを温かく支える身近な役場である。正門前のT字路にはモデル横断歩道が三か所ある。



バス停

通学路線及び生活路線の確保のため、町内を巡回するコミュニティバスを運行している。つのびよんや特産物などのデザインを施したラッピングバス3台体制。土日祝日及び年末年始を除き、巡回している。バスは14人乗り。料金は1人200円(小学生以下100円)。また、障がい者手帳提示では利用料が半額になる。一部定時路線を除いては利用の前日までに予約を行わないといけない。



自転車走行用道路

歩道と、車道との幅が宮崎市内と比べてとても広い。2026年4月から「青切符制度」が始まったため、自転車利用者にとって大変ありがたい。しかし、街灯が無いので夜間の時点さ走行がとて危険。また、駅前の大通りは自転車走行に適しているといえるが、畑のほうに行く道がだんだん狭くなっていた。



コミュニティセンター

現在は残念ながら閉業している。スマートフォンなどの基本的な操作方法から、住民を対象に提供されている各サービスの紹介などを行う講習会、通称d-サロンを開催していた。災害時には、指定緊急避難場所としての機能を果たしている。海拔は19mとなっている。



仕出しセンターあかぎ

お店の方にインタビューをすることができた！主にお葬式などで提供のお弁当を作っている。都農町でとれた新鮮な野菜を使用しており、地域の活性化に貢献しているといえる。港でとれた地元の新鮮な魚の刺身を使用したお弁当などがある。



キャビア王国

宮崎県椎葉村産のキャビアを製造・販売する株式会社キャビア王国は2021年に設立。「平家キャビア」というブランド名で販売している。飼育法に工夫を凝らし、独自の技術で加工したキャビアは独特の臭みがない。日本人の味覚に合った味に仕上げられている。地元の高級旅館やレストランなどに提供している。トークンを活用したチョウザメ養殖・キャビア生産は業界初。



銀杏並木

都農町につながる大通りに、何十本もの銀杏の木が植えてある。秋ごろになるときれいに色づき、黄色の絨毯が広がる。きれいな景色が広がる一方、落ちた葉っぱの掃除は近隣住民が毎日行っているため、大変。しかし一方で、銀杏のおいが大変そうだ。住民同士の共助によって、町の景観がきれいに保たれている。この道路には複数の交差点があるが、信号機が一個もなく、また、街灯もないため、夜間の交通事故が心配だ。

## フィールドワークを終えての感想

都農町に来て最初に思ったことは、駅前通りの道路整備がしっかりしているなということである。路側帯などに落ち葉が少なく、ごみの投棄も少なかったため地域の方が積極的な掃除などを行っているのだろうと感じた。しかし、全体的に街灯が少なく、少し道を曲がると歩道がなかったり、道幅が狭いところが散見された。

実習を行っていた10-12時は買い物のためにスーパーへ行く家族や遊びに行く子どもたちが比較的多い時間帯だと思っていた。しかし、スーパーやコンビニエンスストアを覗いても、家族づれで訪れている人は少なく、50代以上で1人で買い物をしている人が多かった印象だった。

車の通行は比較的多かったが、自転車や人を見かけることがほとんどなかった。実習は少しの時間だったが、都農町には様々な地域資源があることが分かり、魅力を感じることができた。



## 参考資料

都農町公式ホームページ  
宮崎観光ナビ 宮崎公式観光サイト  
国指定重要文化財「赤木家住宅」都農ページ  
都農町防災マップ  
電子地域通貨「つのコイン」都農ページ  
株式会社 キャビア王国  
都農町観光協会